

伊藤東涯著

操觚字訣

東京

千鍾房藏



門 本 4
號 2030
卷 1

門 20
號 2788
卷 1



操觚字訣序

自墳典傳于我。我有和訓。即譯也。以家方言。譯而讀之。取諸訓詁之義。故稱曰和訓。中古以前之學者。以用力於此。如源光朝。和名鈔。是也。而未有說及異字同訓。異義及助語。名實字等者。有之。蓋從心亭諸子始。諸子中。又以東涯徂徠二子。為巨擘。矣。徂徠有譯文。筌蹄譯則。東涯有用字格。操觚字訣等。第考

二氏書其析字義審語脈詳核精當並為
藝苑之指南文壇之圭臬但徂徠偏信李王
以脩辭為玉故其為說間有涉乎奇僻者
東涯則易氣平心廣採諸家遍搜群籍簡
明易知尤有裨後李而操觚字訣其集大成
者也字訣之書成乎其子善韶善校父
書哀輯東涯未定稿自初年至晚年者以成
此書而體製一依用字格不敢擅改易昔在東

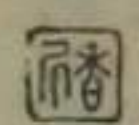
涯之拔仁齋遺稿雖其初年未定說不忍棄
之堀河氏之季篤于倫常雖校書一事慎重
不苟如也吾聞之先輩東涯嘗謁伏為公座
有掛幅西人自書其詩者公俾東涯讀之東涯
請葺研鈔寫之且曰請退熟讀而後應命東涯
出第蒙囑入公又命讀之蘭岫就壁一讀琅然
公悅因語以東涯事蘭岫歸見東涯曰嚮之詩書
非難讀者阿兄何不即讀之東涯曰訓讀之謠轉輾

相承固不可苟。况公朝廷侍讀。海內儒宗。授受一失。其事非輕。吾故欲就讀審定。附之訓點。以復汝何種卒。後宜慎之。嗚呼。古人思慮之深。踐履之謹。非後後世鬪靡夸捷之比。以斯心而著書。宜其貽惠來季之大也。但徠踴為倨傲自大。然其著譯文。空歸乃眷。乎其先人授幼之訓。善字訓字訣。多係口授。徑久而成。非專由自己獨得。前人之功。不可沒也。是書世無刊本。石谷町

田君博雅士也。將捐貲上梓。屬予及村山大樸校定。予多事不暇及。使大樸專任其事。校雙言反覆。半年所。而剞劂竣功。至書中字句。一仍其舊。不敢妄改。以附古人慎重之義云。
明治十二年九月 成齋重野安繹撰



伊東馨書



好尚。有骸製。有章法。句法。有助字。虛字。有用字。別字。乃至成語。熟字。名物。不可不盡講究。如本邦之訓。訓簡。而用博。訓簡。則視以為同。用博。則不能無錯。先子嘗著文訣等書。初學。晚進。因以有資焉。夙年為辨。同訓。草二巨冊。未完。晚草操觚字訣。亦不成書。吁惜哉。於是就先子之遺稿。襲舊名。以纂著此書。償其志。補其闕。收諸家爾。

時寶曆十三年癸未之冬十一月十三日

伊藤善韶撰

操觚字訣總目

- | | | |
|-----|-----|-----|
| 卷之一 | 初編上 | 篇法 |
| 卷之二 | 初編中 | 語辭上 |
| 卷之三 | 初編下 | 語辭下 |
| 卷之四 | 次編上 | 虛字上 |
| 卷之五 | 次編下 | 虛字下 |
| 卷之六 | 三編上 | 雜字上 |
| 卷之七 | 三編中 | 雜字中 |
| 卷之八 | 三編下 | 雜字下 |
| 卷之九 | 四編上 | 實字上 |



操觚字訣總目畢

校刻操觚字訣凡例

一此書文字意義ヲ譯解スル、深切著明ニシテ、引證モ亦的確、其執苑ニ裨益アル淺鮮ナラズ、而シテ傳本甚希ナリ、可テ校刻ニテ後學ニ嘉惠ス、蓋亦先生ノ本意ナラン、

一此書未定稿本タリ、故ニ其古書ニ徵スル、尚遺漏アルニ似タリ、今唯誤字脱文ヲ訂正シテ、敢テ其缺タルヲ補ハザルモノハ、先哲ノ著書ヲ重ズレハナリ

一此書字訓ヲ以テ類ヲ分チ、排次スルニ五十音ヲ以テス、而シテ尤マ位ヲ異ニシヨ。中用ヲ混シ其他假名遣等、正格ヲ得ザルモ少シトセズ、要スルニ是白璧微瑕、其至寶タル

ソノ字注、一々出處ヲ録スルニ暇アラス、若譯ノ精到ナラザルモノアラハ、各本書ニ就テ考ヘシルベシ、

一 語辭虛字雜字ノ部、和訓ノ次第ハ、初聲アイウエヲ以テ、コレヲ分ツ、實字ノ部ハ、訓ニ據ラス、故ニ門類ヲ以テコレヲ分ツ、

一 凡文字、一字ニ多義アリ、コノ書、同訓ノ義バカリヲ辨メ、數義ヲノセス、タトエハエクトヨム字、行ト往トノ辨ヲ載テ、行ノ一字ニツイテ、ミチトメクルトヨム、オコナフトヨム類ハ、一條ニノセス、各ソノ同訓ノ類ニ從フテ、コレヲ解ス、若傍義ニヨリテ、同訓ノ接トナルハ、間、コレヲノス、

一 凡一字ニシテ、義訓カハルモノハ、各部ニコレヲノス、間ノ

一字、アイタ、ヒソカ、マシハル、ヘダツ、マ、五度出シ、齊ノ一字、ヒトシ、ト、ナフ、二度出シ、逢ノ一字アフ、ムカフ、二度出シ、者ノ一字、者物ノ條ト人者ノ條ト、二度出ス、此類イッレモ參看併考メ、互ニソノ義趣ヲシルベシ、

一 凡善能誠信、由因等ノ字、語辭トナシテ用ヒ、虛字トナシテ用ユ、同訓ニメ、虛實輕重アルモノ、今皆一方ニ載セヨキ、其

注解ハ、則各ソノ條下ニ著ハシヨク、
一同訓ノ文字、辨スルニ及ハヌメ、明ナルモノアリ、タトエハ、偏單片ニヒトヘト訓ス、偏ハ十偏ノ義、單者單複カラノナ

キ、簡ヤウノ類ハ、分明ナルナレハ、此書ニノセズ、
 一此書、古書中所用ノ古字ハ、多クノセス、武ヲアト、ヨミ、繩
 ヲホムルトヨミ、鳩ヲアツムトヨム類也、成語ハ各別ノ、
 奇字ヲ用ユルハ、平正ノ文ニ好ム所ニ非サル故ナリ、

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

字例

一凡文字、而於乎哉ノ類ヲ、助字トイフ、文章ノテニハナリ、嗚
 呼如何稍亦ノ類ヲ語辭トイフ、文章ノコトハ字也、命スル
 見ヲ行クノ類、ハタラキニナル字ヲ虚字ト云、天地日月命
 令ノ類ヲ實字ト云、ソノカタチアルモノナリ、
 一同訓ノ文字、ヨクハ吟味セザレハ、用ヒ誤ルコトアリ、華人モ
 コノ失アリトミヘタリ、孫月峰カ書ニ、今之諸生ハ、字義ニ
 カトキ故、文字アヤマリ用ユルコト多シトイヘリ、況ヤ國人
 ヲタシ吟味セズレハアルベカラス、
 一此方ニテ語辭トナシテヨム字、ソノ虚字ノ本義ニフシテ

ミレハ、ソノ義分レ易キモノアリ、タトエハ使令教ノ三ツ
凡、シムトヨムソノ虚字ノ意ヲ尋レハ、使ハ人ヲツカフ
令ハ命令ノ一、使ト云ヨリハ嚴重也、教ハワケ差フヤウナ
レ凡、コレモ教命ナトツ、キ、サシヅシテ、オシエ導ク一也、
可。ヲベシトヨムハ、ソノ通りガ、可ナリト云一、當ハ、ソノ通
リ的當テアラフトイフ一、宜ハ、サフスルガヨロシカルベ
シト云一、ラルノ字、見所被ノワカチモ、上ニ同シ、然レ凡、使
フ令スル教ユル、可也當ル所トヨム片ノ注ハ、字書ニ詳也、
シムベシラルトヨム注ハ、別ニハナシ使トレムト又可
トヘシトヒトツノ義也、シムベシラルトヨム片ヲ、此方ニ

テハ語辭トスレ凡、唐人ニテハ、ヤハリ使フ可也、見ルト云
一也、又以為、謂、所以、所謂、ヲ、ヲモヘラクユエシイハユルト
ヨミ語辭トスレ凡、コレモ、唐ニハナキ一也、ヤハリ以テ為
ス、以スル所、イフ所也、上ノ例ニ同シ、コレヲ、ヲモヘラクユ
エシイハユルト訓スルハ、其意ヲ能ク考ヘタルモノ也、此
書ニハ、凡コノ類、ヤハリ語辭ノ部ニノセ置キ、考索ニ使ニ
ス、
一凡文字ニ、正用アリ、假用アリ、タトエハ、道德等ノ字ヲ、好字
一面ニ用ユルハ、正用也、又人ノヨリテ行フトコロ、不好事ト
イヘ凡、邪道惡徳ナト、イフハ、假用也、又善惡ノ差別ニ非

メ、正假ノ別アルトモアリ、

一文字ニ自然ト使然トノ別アリ、タトエハ、三ヲ三ツトヨミ、

敗ヲヤブル、トヨムハ、自然ナリ、ゴレヲ三タビトヨミ、ヤ

ブルトヨムハ、使然也、ヒトリツフナルト、コノ方ヨリソ

フスルトノ差別也、音カハルト多シ今此書同シクコレヲ

アツム、文勢ヲミテシルベシ、

一總メ同訓ニ、一字總躰シテ、餘リノ數字ハ、ソノフリノ少シ

ツ、カハルアリ、求ト云字、思フト云字、同訓多ケレト、求ノ

字、思ノ字ノフリニテ、其内ニテ、少シツ、差フ一也、又同訓

ノ内ニ、二篇ニ立テ、總躰スルトアリ、タトエハ、マジハルト

ヨム字、交接際、三字同類ニテ、ソノフリチカヒ、雜錯混淆四

字同類ニテ、ソノフリチカフ、ワタルトヨム字、渡、濟、涉、同類、

弥、竟、徑、互、同類、上ノ例也、

一反對ニヨリテ、ソノ義ヲ明カニスルトアリ、タトエハ、有、無、

誠、偽、虚、實、断、續、ノ類、コトキ是也、連用ニヨリテ、ソノ義ヲ

知ルモノアリ、タトエハ、交、接、連、續、還、歸、堅、固、ノ類、コトキ

是也、同字同訓ニシテ、虚實用ヲ異ニスルモノアリ、誠、信、允、

ノ字、コトキ是也、同字同訓ニシテ、ソノ義、稍同カラザルモ

ノアリ、追、呼、ノ追、追、遠、ノ追、交、易、ノ易、变、易、ノ易、達、道、ノ達、達、

四、海、ノ達、ノコトキ是也、各ソノ辨ヲ下ニロス

一 主客ノ辨アルアリ、タトエハ、サシハサムトヨム字、捕ハ兩方ノ間ヘサシユムト、挾ハ兩方ヨリハサムト、アヒタトヨム字、間ハ兩方ノ中間ナリ、際ハ兩方ノツキ合タル所也、

一 輕重ノ辨アルアリ、タトエハ、愁ハカロクシテ長シ、憂ハヤヤ重シ、患トイヘハ、又甚切急也、一字ノ上ニ就テイヘハ、善能ノ字ヲヨクト用ユルキハ、輕ク、ヨクストイヒ、善惡能不能トイヘハ、重キナリ

一 緩急ノ辨アルアリ、タトエハ、歩ハ一通リノアルクト、趨ハ足ヲハヤメテワシルト、走ハ一筋ニハシルト、趨ヨリハ急也、奔ハヲドリアカリテ行クト、走トイフヨリナヲアラキ

也、破敗ノ辨モ緩急也、

一 先後ノ辨アルアリ、タトエハ、恐トイヘハ事起ラヌ先ニ物ノアンジルト、懼トイヘハ、事出来タルヲ、ソレヲコハカルト也

一 廣狹ノ辨アルアリ、タトエハ、求ハヒロク、モトムト云ニ用ヒ、ソノ餘、索、需、邀、斬等ノ字ハ、求ノ字ノワリノ少シツ、カハリタルモノニメ、ソノ用セマシ、

一 大小ノ辨アルアリ、タトエハ、メクルトヨム字、周巡行運ノ字ハ、ヒロク、一ヘン通り、メクルト也、旋回轉ノ字ハ、セマクイタヘンモ、メクルト也、又戰ハ大ニ闘ハ小サシ、コノ類也、

一 深淺ノ辨アルアリ、タトエハ、聽聞、視見、知識ノ類、一通リサツトサフスルトシカトソフスルトノ別也

一 強弱ノ辨アルアリ、タトエハ、勝ハ負ト對シ、カチマケノ、
克ハ、カヲイレテ、シニクキ所ヲシテカツ、勝ヨリハ強シ、

一時ニアタリテイフト、兼テヨリイフトノ辨アリ、タトエハ
教訓ノ字ハ、兼々オシヘ道ヒク、誨トイヘハ、時ニ當リテ、

明白ニオシヘサトス、シカレ、教誨ト連用スル上ハ
各別意義分タザル、モアリ、上ノ諸例モ、コレニ倣フ、コノ

条緩急先後ノ辨トモ、併セ考フヘシ、以上十條、必一々コノ
例ヲ以テ、辨スヘキニモ非、又所引ノ例、一定スルニモアラ

ス、タ、ソノ大概ヲ著ハシヲクスベテコノ意ヲ以テ分テ
ハ、辨別シ易キ故也、

一 實字ニ正用散用アリ、鄰里師旅ノ字、屋宅人數ノ多少ニ就

テイフ、是本義也、ソレヲヒロク、ソノ大小カツカウニヨリ
テイフハ、散用也、又冠旗等ノ字一定ノ名也、コレヲ廣クカ

フリハタニ類スルモノハ、名ツケ呼フ是亦散用也、又古今
ノ辨アリ、古ハ甲、人ト云、後世ハ鎧、兜、鑿ト云ノ類ナリ、大小

ノ辨アルアリ、道路ハ大ニ、途徑ハ小也、一定不通ノモノア
リ、天地池澤ノ類也、貴賤ニ就テ別ツモノアリ、璽、印章ノ類

也、又字別ニ物不異モノアリ、舟、船ノ如キ、ソノ辨アツトイ

ヘトモ、強テクワシク辨スルニモ不及、實字ハコレノ例ヲ以テ看ルヘシ

一實字ノ上ニ本義ヲクワシク尋ヌレハ、ソレノ、差別アレ
凡、後ニハ通用シテ、ワカタガルニアリ、疾病ノ字ノ類ナリ、
又二字取合セテハ、ソノワケ各異ナレ凡、ハナシテイフキ
ハ、通用スルニアリ、鬼神ノ字ナトノ類也

操觚字訣卷之一目錄

編法 助辭

文章四躰辨

文章四法辨

文章首尾結撰辨

文章章法句法辨

虛語實語辨

字法管到不管到辨

文字主從辨

倒語辨

而字辨

之字添減各有二法辨

於字添減二法辨

者字添減二法辨

古字今字辨

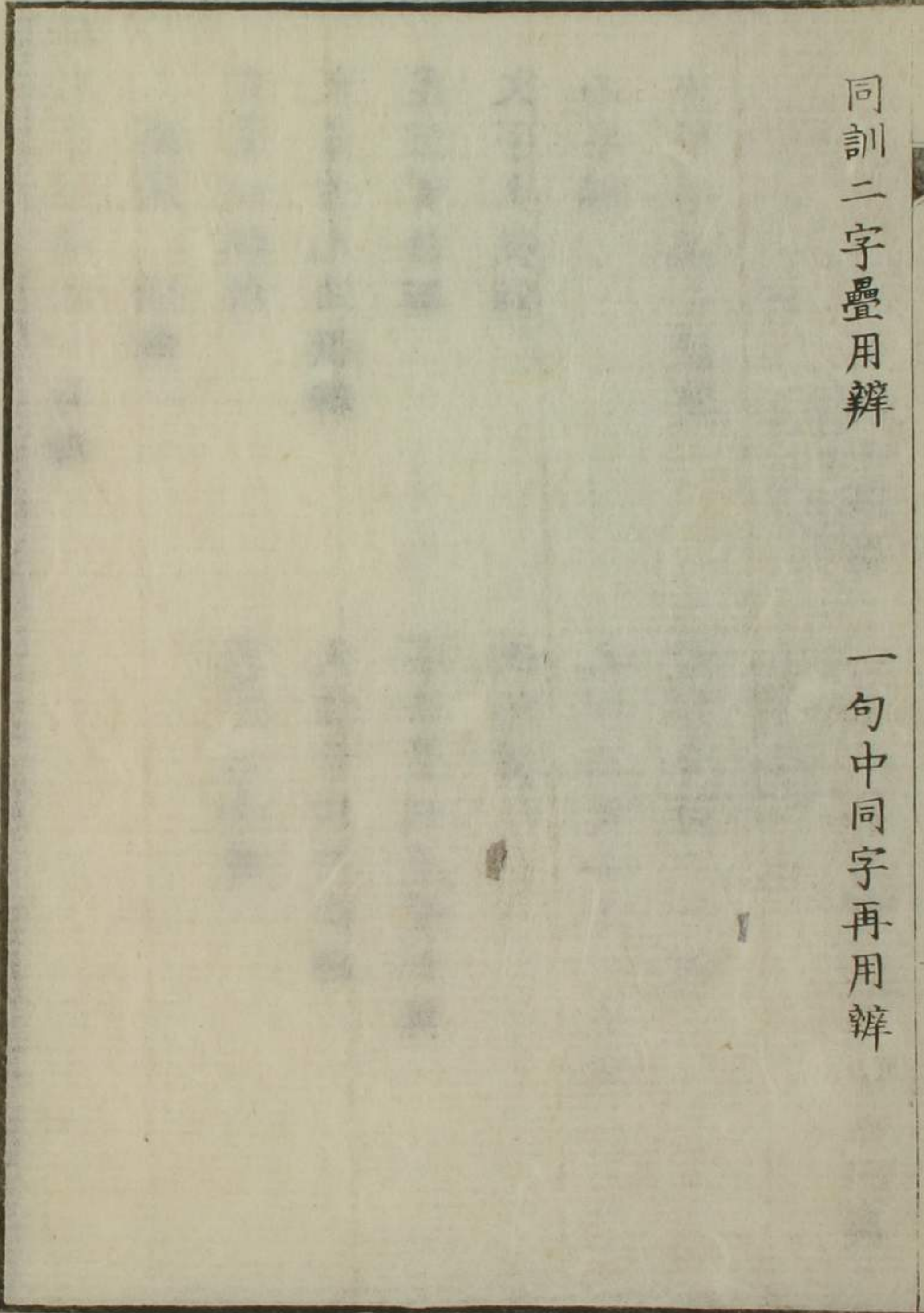
正字俗字辨

同字異義有正俗之別辨

同字同義隨所有正俗之別辨

同訓二字疊用辨

一句中同字再用辨



操觚字訣卷之一 初編上

伊藤長胤創草 男善韶 纂著

重野安繹 閱

村山徳淳 校

篇法 助辭

此編ニハ、文章一篇ノ法ヲ始メ、章法句法、及ヒ助字ノ増減等ノ大概ヲノス、

文章四昧ノ辨

文ニ散文四六韻語時文ノ別アリ、**散文**ト云ハ、字數不定、平仄韻章、モトヨリ、カマヒナシ、又古文ト云、古ハ四六ノ昧ナシ、六

朝已來コレアリ、ソレユヘニ、後世ニテモ、散文一書ケバ、古ノ法ナルユヘニ、コレヲ古文ト云、秦漢ノ文ハ、皆古文ニテ、散文ナリ、六朝以來、四六ノ躰、咸ニ行レ、古文廢絶セリ、唐ノ韓文公、當時ノ弊ヲタメテ、上代ノ躰ヲ又カキアラハセリ、文起八代之衰ト云ハ、是義ヲ稱美シタルモノナリ、**四六**又駢驪ト云、南北已來、文ヲ對々ニ書テ、句數字數ヲ同シヤウニマクバリ作ル、最初ヲ四字六字ニ作ルユヘニ、四六ト云、中ニナリテ、色々變化メ、或三七、或五八、或六八、字數不定、シカレモ、必對句ト、字數トヲ合スルナリ、ソノ内ニ、隔句對アリ、二句對アリ、二句對ヲ散聯ト云、隔句對ヲ偶聯ト云、句ノ末ニ平仄ヲ互ニトル

韻

語ト云ハ、韻字ヲフミタル文ナリ、賦贊銘頌ノ類ノ如キ是ナリ、**時文**ト云ハ、及第ノ文章ナリ、又制藝ト云、制義ト云、程文程墨トモ云、**進世**明清ノ時文ノ本トハ、宋ノ時、王荊公ヨリハジマル、宋已前及第二トルハ、皆詞賦ヲ以テ試ム、ソノ無益ナルヲ以テ、經書ノ文句ヲ題ニシテ、**天下ノ學士ヲ試ム**、是ヲ經義ト云、宋ノ時ノ經義ハヒテ傳ラヌ、**張才叔**カ答經義二篇宋文鑑ニコレヲノセリ、元ノ時ノ經義モ亦傳ラヌ、明ノ世清ノ世ノ經義多クアリ、ソレモ文法、時々ニ變スレモ、大較首ニ二句破題ト云テ、末ニ必ス矣也焉等ノ字ヲオキ、ソノ次ニ承題ト云、一クサリアリ、ソノ次ニ長キ對八段アリ、畢竟四聯ナリ

是ヲ八股ト云、又八比トモ云、オハリニ結語アリ、ソノ内ニ少
々変躰アリ

散文

句法長短不齊、不切平仄、不押韻

四六

句法字法、必取對偶、句末互取平仄、不押韻

韻語

句法字法、有對、或長短不同、句末必押韻

時文

不拘字數、不切平仄、不押韻、必設長句對、或六段、或八段

右ノ分、作式カハレ、皆本文章ナリ、コノ外ニ、(語)(錄)(躰)アリ、

(東)(牘)(躰)アリ、(公)(移)(躰)アリ、(演)(義)(躰)アリ、右ノ諸躰少々カハレ

凡、畢竟俗語ナリ、文章トスルニタラス、語錄躰ハ、宋儒語錄、

并ニ性理字義傳習錄ノタグヒナリ、經義ヲサトシ、道理ヲ

辨ズルハ、俗ニ通ズルヲ主トスルユヘニ、一部ノ書ヲ作ル

ニモ、俗語ニカク、多シ、東牘ハ、日本ノ消息ナリ、全ク俗語

ニアラザレ、凡、字法套語、本文トコトナリ、歐蘇手簡、五老集

翰墨大全等ニノスル書、皆是ナリ、本文ニ書ト云ハ、又別ナ

リ、書ハ散文四六ニ書テ、俗語ニアラス、然、凡、起結稱呼ハ、尺

牘ニコトナラズ、文選并ニ八大家文鈔ニ、多クコレヲノセ

リ、公移ハ、日本ノ下文、フレ状ナリ、大明律、大明會典ノ文法

ソノ外、文集ニ公移トアルノ類、皆是ナリ、公儀コトバノ俗

語ナリ、演義ハ、水滸傳、西遊記等ノ話本ナリ、日本ノカナ物

ハナシ本ノコトシ、唐人ノ平語ヲ、直ニウツシタルモノニ

テ、字義字法ノ例、本文ト全クコトナリ、ソノ内ニモ、又古今ト、高シヨウナルト、卑俗ナルトノ差別アリテ、一樣ナラズ、右ノ諸躰ノ別ヲシラザレハ、作文ノ間、語句混乱シテ、アキラカナラズ、タトヘハ、日本ニテ國字鈔カキシヤウヲ源氏物語ノヤウニカキ、消息ヲ宣命ノコトクニ書テハ、世ニ通セザルカコトシ、ソノ別ヲ辨セズンハアルベカラス、

文章四法ノ辨

文ノ用ニ、叙事議論辞命詩賦ノ四法アリ、宋ノ真西山先生、文章正宗ヲ輯ルニ、ハジメテコノ名目ヲ立ラル、明ノ載文光カ左傳標釋ニハ、叙事議論辞命ト分ツ、(叙事)トハ、事ヲ述ツ

イヅルト云レ也、序記紀志傳碑狀ノ類是ナリ、序ハ書籍ノ序、又叙ト云、引ト云、送序壽序宴序等也、題辭小引辨言モ、序ノ短小ナルモノナリ、(記)ハ軒齋記、遊記等ナリ、(紀)ハ、歴史ノ本紀又紀事紀行等ナリ、(志)ハ、記ト畧、同シ、事ヲシルスト云レ也、(傳)ハ、歴史ノ某傳ト云是也、(碑)ハ、墓碑事功碑等也、(狀)ハ、行狀ト同シ、叙事ノ類、大概上ノコトシ、ソノ内、序ハ叙事ナレ、(氏)議論シテカケハ、議論躰ナリ、傳記ノ類ハ、議論ニハカ、レ又ナリ、伯夷傳ノコトキハ、格別ノ一也、(議)論トハ、モノコトヲギンミ、セシナクシテ、道理ノ筋ヲ、イヒツメルナリ、論辨解議說頌原策問策對講義制義銘箴戒贊ノ類是ナリ、(論)ハコトヲ論辨スル

ナリ、(辨)ハ、理屈ナシニ、疑似ヲ明カニ、ワキマフルナリ、(解)ハ、注
 解シテ、イヒワカツト也、大概辨ニ似タリ、(議)ハ、審ニ事ノヨロ
 シキヲ、ハカルナリ、モトハ朝廷ニテ、謀議スルト也、後世私ニ
 テモ、コレヲカリテ云ト也、(説)ハ、意義ヲ發揮スルナリ、(頌)ハ、功
 徳ヲ褒揚シテ、宗廟ニ歌フモノ也、詩ノ三頌ヲ始トシ、後世ニ
 テハ、聖主得賢臣頌ノ類是ナリ、(原)ハ、事ノミナモトヲ、ヤンミ
 シツメル事ナリ、原道原鬼ノ類是也、(策)(問)(策)(對)ハ、朝廷ノ進士
 ヲ試ムルキ用ル問答ナリ、策ハ、ハカリコト、云ト也、韓文ニ、
 進士策問アリ、又時務策ト云テ、經濟ノ才ヲ試ルニ用ユ、(講)(義)
 ハ、講説ノコトバヲ、文ニカクナリ、制義モ朝廷士ヲ試ル文ナ

リ、上ニ詳ニス、(銘)ハ、墓銘器物ノ銘等ナリ、銘ハ名ナリ、ソノ物
 ニメイスルト也、(箴)ハ、ミナイマシメノ文ナリ、大寶箴程子
 ノ四箴柳文ノ三箴ノ類是ナリ、(贊)ハ、贊美スルト也、班史ノ本
 紀ノ贊、ソノ外、題贊ノ類也、以上諸躰、ミナ議論ノ文ナリ、ワカ
 一カタノ理屈ヲ、イヒアラハシテ、議論センキスル文ナリ、コ
 ノ類ハ、叙事ニハカキカタシ、タママ叙事ヲ以テカク、作者
 ノ變躰也、(命)トハ、モト王言也、上ヨリ下へ下ル所ノ文ナリ
 詰誓命詔勅制冊璽書檄露布等ノ類、ミナ上ノ命令ヲ文章ニ
 述ルモノナレバ、コレヲ命トス、(誥)ハ、四方へ播告スル文ナ
 リ、(誓)ハ、師ヲ行ル片、衆ニチカフ文也、(命)ハ、國ヲ封シ、官ヲ命ズ

ルニ用ユ、(詔)(勅)(制)(冊)(壘)(書)各ソノ用ヲ異ニス、是ミナ王言ナリ、
 コノ外、下ヨリ上ヘ奉ル類ニ、(上)(書)(封)(事)(劄)(子)(奏)(狀)(表)(箋)(啟)(疏)ア
 リ、ミナ朝廷ニ奉ル文ナリ、事ニヨリテ、ソレクノ別アリ、又書
 上梁文祭文告文アリ、(書)ハ上ニ辨スル通ナリ、(上)(梁)(文)ハ、棟上
 ケノ時ノ文也、上ニ兎郎偉ノ字ヲキ、東西南北上下ト六段
 アリ、スクニソノ字ヲ取テ、韻ヲ切ス、コレヲ六偉ト云、(祭)(文)ハ、
 死者ヲマツル文也、韻ヲ押ス、四字句ニカク、又ソノ内ニ、六字
 八字、長短ニカク、コレニモ韻ヲ押ス、(告)(文)ハ、冠昏喪祭ノ時、先
 祖ヘ告ル文也、首尾ニ必常式、語アリ、コレ皆人ノイフ所ハ、
 口上コトバヲ、文ニ述序スルモノ也、常躰ノ人ニトリテモ、口

上コトバフ文ニカクハ、コノ類也、辞命ノ類、大概上ノコトシ、
 辞命事レケキ故、一法ニ分テトモ、畢竟ハ叙事ノ文ナリ、上下
 彼此相告諭スル上ニ取レハ、辞命辞令トイフベシ、人ノ口上
 ヲ寫ス上ニ取レハ、叙事ナリ、若義理ヲオシヤイ、イヒ開ク上
 ヲイヘバ、議論ノ文トスベシ、ソノ内ニ上書封事劄子奏狀表
 ハ、議論多キ故、正宗議論ノ部ニ編ス、(詩)(賦)トハ、賡歌以來、三百
 編、賦騷及後世ノ五七言、古詩律詩等ナリ、真氏ノ分躰、大畧上
 ノ如シ、載氏ノ辞命辞令ノ別ハ、君臣ノ告諭、或ハ諸侯ノ互ニ
 相往來應對スル、口上コトバハ、ミナ辞令トス、正宗辞命ノ部
 ニノスル文モ、標釋ニハ辞令ト題ス、命ト令トハ、貴賤ノ別ト

ハミヘズ、嚴慢ノ分ナルベシ、總テ文章ノ諸躰、事シケ、レヒ、
 上ノ四法ニ漏ル、一ナシ、辞命辞令モ、叙事ナレバ、實ハ叙事
 議論ノ二法ニ極ル、諸躰元來、ソノ定ノアルニ非ス、タ、ソノ
 文ノ主タル所ヲ以テ、イフベシ、又諸躰ノ文原ハ文章辨躰、文
 章縁起等ニ詳ナリ、今コ、ニアゲズ、又古今ノ變躰、人々ノ好
 尚アリ、各撰者ノ變化ニ從フ、凡テ議論ノ文ハ、曲折ニメ主意
 ノ明覈ナルヲ尚フ、叙事ノ文ハ、事實ニ穩當シテ疎漏ナキヲ
 尚フ、辞命ノ文ハ、嚴正ヲ尚フ、辞令ノ文ハ、婉曲ニメ主意ノ精
 到スルヲ尚フ、各廣狹敬慢ノ別アリ、又議論ノ文ハ、辞ノ斡旋
 多キ故、助字ヲ多ク用ヒテ、轉換スル一ナリ、叙事文ハ、事實ノ

通リニイヒテ、理屈ヲイヒ開ク一少キ故、助字呼應ノ轉換ハ
 少シテ、形容名物ノ文字多ク入ルナリ、各ソノ躰制ヲ考ヘテ
 可ナリ

議論

有散文、有四六、有韵語、有時文、
 論、辨、解、議、說、原、頌、策、問、策、對、講、義、制、義、銘、箴、戒、贊、

叙事

有散文、有四六、
 序、記、傳、碑、事、狀、志、題、跋、

辞命

有散文、有四六、
 誥、誓、命、詔、勅、制、冊、壘、書、檄、露、布、上、書、封、事、劄、子、奏、狀、表、箋、
 疏、啓、書、上、梁、文、祭、文、告、文、○辞命、畢竟、叙事、中、述、人、之、言、
 語、者、故、上、書、以、下、諸、躰、今、屬、此、法、詳、于、解、中、

辞令、文、躰、同、上、戴、文、光、九、以、上、所、謂、諸、躰、作、辞、令、其、所、謂、
 辞、命、者、甚、少、事、稍、嚴、重、耳、

詩賦

有韵語、有切平仄、有正格律、
 古賦、律賦、騷、賦、四、五、六、七、言、古、詩、近、躰、

文章編法首尾結撰ノ辨

文章ハ長短ニカキラズ、篇首篇中編尾ノ差別アリ、又起承鋪叙過結ト分ツ、タトヘハ、人ノ頭足アルガコトク、家ノ堂室アルガコトシ、一篇ノ文章ヲカクニモ、コノ差別ヲ辨ヘサレハ、辭理前後シテ、條理タ、ズ、起頭ハ、一篇ノ大意ヲアグ、冒頭破題問答設事ナト、法ヲ立ツ、コノ一クサリアリテ次ヲ承ト云、起頭ノ一段ヲ承テトク一也、鋪叙ハ篇中ニナリテ、主意ヲノブル一也、コノ内ニ、波瀾頓挫起伏ナド云一アリ、サテソノ次ヲ過結ニテ、全文ノ立意ヲイヒトムル一也、總テ文章ハ、首尾尤カキガタキモノ也、故ニ文家コレヲ重ス、序ニハ序ノ躰アリ、紀ニハ紀ノ躰アリ、諸躰ソレ々ノ躰アリ、又作者ノ意時

代ノ好尚ニテ、色々ノヤウスノカハリアリト雖、氏シカレ、首中尾ノ別ヲキコトハナシ、總テコレヲ間架布置ト云、アトサキノマクバリノ一也、間架布置ノ法ヲタ、シテ、ソノ後粧點ヲ加フル一也、或ハ前後照應シテカク一アリ、首ヨリ段々イヒホドキテ、盡テ止アリ、諸躰一定ナラザル一ナレバ、詳ニ辨シカタシ、古文ノ法ヲ熟玩スベシ

篇首 起承

篇中 鋪叙

篇尾 過結

又篇法ノ上ニ、養心養力養氣識躰家數ト云一アリ、養心ト

ハ、此方ノ見識正大ナレバ、文章理高シ、氣量宏豁ナレバ、文
 ノ格調高シ、シカレバ、先コノ方ノ心氣ヲ養フト云一也、養
 カトハ、讀書多ケレバ、學問博ク、世故ヲ歷レバ、材力ノ健ニ
 ナルヲイフ、養氣トハ、總テツレクノ題ノ氣ヲ養フヲイ
 フ、朝廷聖賢ノ題肅、河岳武功題壯、山林仙隱題清、宴樂通人
 題和、惟神豪俠題奇、園樹美人題麗、上古雅勝題古、登眺功業
 題遠トイヒテ、各ツノ題ニ就テ、氣象ノカハリアルヲイフ
 識、躰トハ、上ニ所謂、四法序記等ノ文躰ヲ正ス一ヲイフ、家
 數トハ、尚書ヲ始トシ、秦漢魏六朝唐宋元明、古今ノ文家、諸
 子百家、各ツノ躰ノ別アルヲイフ、是等ノ一ハ、此方ニ一ケ

一ノ見識アリテ、文ヲ述ルニハ、強テ法ヲ立テ、ソレニアハス
 ルニハ、アラガレトシカレトシ、ソノ大概如此モノ故、畧ソノ
 辨ヲノス、總テ文ヲ作ルニ、忌暗忌弱忌陳コノ三ツヲ、肝要
 トスベシ

文章章法句法ノ辨

讀書著述ノ間、章法句法ヲシラズンハアルベカラズ、章法ト
 ハ、一篇ノ大ハリナリ、コノアトサキニ、ナラザルヤウニスル
 コトナリ、句法トハ、一章ノ小ハリナリ、一句ノアトサキニナ
 ラザルヤウニスル一也、又句ニハ、上下ノツリ合、文班ノ恰好
 ニテ、或字數ヲノミ、或チノ、或句ヲハブキ、或閑句ヲ入ル一

アリ、凡テ文章ノ骨子ヲ立ルハ、四言ノ實句ナリ、長短多寡、ニスベカラズト雖モ、ソノ句作りハ、四言ニスキズ、ソノブレハ五六字ニナリ、ツメレバ二三字ニナルソノ間、虚字助字ヲ以テ斡旋ス、字法ハ、一字ノ上ナリ、コノ處ハ從ノ字、コノ處ハ隨ノ字ナリト、ソレクノ字ノアルヲイフ、又句法ニ不敢ノ所アリ敢不ノ所ロアリ、不必ノ所アリ、必不ノ所アリ、コレモ句法ノ上ノ一ナリ、總テ文ハ、字法句法章法篇法トワカツ、コレヲ家作りニタトフレバ、篇法ハ、ワカ屋敷地ノ、曲面ヲ詳ニスルガゴトシ、章法ハ、門堂庖福各、ソノ位ヲ定ルガゴトシ、句法ハ、一室ノ中ニテ、ソノ間、相應ノ勝手ヲ設テ、用ヲナスガゴトシ

此ヲ増減併省スルハ、家ノ恰好ニヨリテ、或ハ不得已、ヒロクナル所アリ、セマクナル所アルガゴトシ、字法ハ、總躰ニカ、ル間ゴトニ、木竹土石ヲ用ルニ、各ソノ宜ト不冝トアルガゴトシ、小ナル所ホド、イヨク細密ナリ、又段落句讀ノ別アリ、段落ハ一章ノキリナリ、句ハ一句ノキリナリ、讀ハ一句中ノキリナリ、和点ニテヨム上ニ、讀ハコシテ上ヘカヘリテヨム一アリ、句ヲコヘテヨミカヘルト云フハナキナリ、讀ハ一句中ニ、イクツモ切ルテアリ、古文簡古ナル故、句讀トモニ短シ、後世ノ文ハ、句讀甚長シ、クワシク分ツトキハ、大段落小段落大句小句讀微讀ト分ツ、若、曰乾元亨利貞、以乾字下、做微讀讀、又

增韻ニ云、今祕省校書式、凡句絶、則点於字之旁、讀分則微点於字之間ト、今人ノ右ニ切ルト、中ニ切ルトノ一也、句ノ一、又下ノ管到ノ條、併セ見ルベシ

段落 即章也、有大段落、有小段落、

句 有長句、有短句、有一字句、二字句、三字句、四字句、五字句、

讀 又讀中有微讀、

虚語實語ノ辨

文章ノコトバニ、虚語實語アリ、虚語ハ人ノ口上ナリ、實語ハ事實ヲ直ニウツス一也、コノ訣ヲシラガレバ、議論叙事混雜シテワカレズ、タトヘバ、春秋ニ春王正月、公即位トアリ、コレ

實語也、左傳ニ之ヲ傳シテ、攝也トアリ、コレ虚語ナリ、コノワ

ケハ、春王正月、公即位ト云ハ、事實ヲ直ニ記録シタルモノ也、

ソノワケヲ攝スレバナリト云ハ、口上ニテ、コレヲコトハリ

タルモノナリ、コレニテ、虚實ノ辨、ワカルヲナリ、ソレユヘニ、

實語ニハ、矣也焉哉ノ助字ナシ、虚語專ラ助字ニテ、疑決轉換

ノ意ヲ言マハスナリ、各差別アリ、

實語 春王正月、公即位

虚語 攝也

字法管到、不管到ノ辨

管到ハ、字ノカ、リ場ナリ、文章ノ評語ニ、此句管到某處ト云

トアリ、其ノ處マテカ、ルト云フナリ、此訣ヲシラサレハ、作文讀書ニ、主意ヲアヤマルト多シ、タトヘバ、人ノ屋宅ノソレクニ地ドリノアルゴトシ、讀書ニ、管到ノ處マデ至ラズシテ、ヨミキレバ、吾屋敷ヲ、人ニ奪ハル、ガゴトシ、管到ノ處ヲコヘテ、カヘリスクレバ、人ノ屋敷ヲ、ワガ奪フガゴトシ、タトヘバ、有朋自遠方来ト云ガゴトキ、舊點ニハ、朋遠方ヨリ来ルト有トヨム、コレハアシ、朋アリトヨミテヨシ、是ハ義理ノ違フトハナケレバ、有ノ字、朋ノ字バカリニカ、リテ、来ノ字マデハカ、ラズ、故ニ来ル有リトハ、点スベカラズ、管到ノ處ヲユユレバナリ、盖自天降生民ト云カゴトキ、舊點ニハ、天ヨリ

トヨム、コレモアシ、天降生民ヨリト、降ノ字ヨリカヘリヨムベシ、自ノ字下ノ四字マデ、管到スレバナリ、况ヤ、天降生民ノ四字ハ、揚子法言ニ出ル成語ナリ、ソレニ自ノ字ヲ加ヘタルモノナレバ、尚モツテ、下ヨリ讀ベシ、是謂拂人之性、蓄必逮夫身ト、是モ逮トイフト、下ヨリ及リテヨムハアシ、拂人之性ト謂ト、拂ノ字ヨリ及リテヨムベシ、是ハ是謂ノ二字上ノ一句四字マデニカ、リテ、下ノ句マデハカ、ラサレバナリ、全文ノ意、好惡ノ人ニカワリタルハ、人ノ性ニモトリタルモノニテ、如此者ハ、必災ニアフト云フナリ、他コノ例ヲ以テ推スベシ、

文字主従ノ辨

文字ニ主従ノ辨アリ、主ハ躰ニナルモノナリ、従ハソノ相手ナリ、コレニヨリテ、和点ニテヨム上ニ、ニトヲトノ差別アリ、大概ニトヨム方、主ニナリテ、ヲトヨム方、従フモノ也、ニテ應呼シテヨムハ、タトヘバ、主人ニ心ヲツクスト云キハ、主人主トナリテ、心客ナリ、心ニ主人ヲワスレヌト云キハ、心主ニナリテ、主人客ナリ、手ニ刀ヲトル、刀ニ手ヲカクル、足ニ履ヲハク、履ニ足ヲ納ルノ類、スベテコノ例ニテオスベシ、ニトヲトニテ、義理ノタガフアリ、大學之書、古之大學所以教人之法也、トヨミ来レリ、コレヲ人ニ教ユルトヨミテモ、同シキナレ

氏人ヲトヨミテ宜シ、人ヲ教ユルハ、コト方主トナリテ、教ユルナレバナリ、存心トヨムハ、仁禮ヲ以テ、心ヲ存在スルナリ、コレヲ存心トヨメバ、心上ニ存在メ、動ヤヌト云フ也、コレハアシ、善華音トヨメバ、唐音カ上手ト云フ也、善華音トヨメバ、ソノ人、唐音ニ相應スルト云フ也、唐音が主ニナルナリ、ニトヨムキハ、於ノ助字アルナリ、無モソノ心ナリ、又知人愛人、問人、欺人、殺人、治人、養人、使人ト云ク類ハ、イヅレモ人ヲトヨミテヨシ、コノ方が主ニナリテ、サキノ人ヲシリ、人ヲ治ルニヨリテナリ、知人愛人、問人トヨムキハ、サキが主ニナリテ、コノ方がサワセラル、ナリ、コレ等ハ、ニトヲトニテ、主

從違ヒ、義理カハル_レ也、事_レ人_レ對_レ人_レ託_レ人_レ依_レ人_レノ類ハ、イヅレモ、
 人ニトヨミテヨシ、コレハ、人ヲ主ニシタルモノナリ、コノ方
 ソレハ從_レフ也、コノ類ハ、ヲトハ讀マレヌナリ、又寫書校書
 讀書看書尋花香花採花鬪草ノ類ハ、コノ方ガ主ニナリテ、書
 籍ヤ、花ヲ取アツカフ、ソノ物カ從_レフナリ、コノ類ハ、ニトハヨ
 マレヌ也、又問_レ人_レトカクニ、人ヲトムラフハ、ヲナリ、人ニ物ヲ
 トフキハ、ニナリ、コレハ問字ノ義、カハル故ナリ、同シ問人ト、
 カク内ニ、ニトヲトノ主從アルナリ、凡ソ中國ノ文字、本朝ノ
 コトバト、相準ズルニ、虚實ハ共ニ相通ズ、日本ニテ、テニヲハ
 ト云、漢語ニハ、テハ而、ニハ於、ハハ者ニ準ス、唯ヲト云音ニ準

ズベキ字ナシ、漢土ニハ、ヲト云コトバニ、準スル音ナシトミ
 エタリ、然レ漢文ニ點ヲ付ルニハ、ソノワカレ、自ラ差別アル
 一ナリ、
 倒語ノ辨

文章ノ法ニ、倒語ト云_レアリ、義理ノ違ヒアルニアラズ、タバ
 文勢ニヨル_レナリ、古文ニコノ法、尤多シ、タトヘバ、巧言令色、
 鮮矣、仁トカクハ、仁鮮矣トカキテモ、同ジ_レナリ、賢哉回也、久
 矣吾不復夢見周公、而述何哉爾、所謂達者、若是乎賢者之無益於
 國也、告子ノ類、ミナ上ニ辨スルト、同ジコトバリナリ、文勢ノ
 緩急ヲ考フベシ、倒語ノ上ノ段ニハ、必矣哉等ノ字アリ、上ノ

例ヲ見ルベシ、又一法、迅雷風烈、必變、隕石於宋五、六、鷓退飛過
宋都春秋トカク類上ヲ迅雷トカケバ、下モ烈風トカクベシ、六
鷓トカケバ、五石トカクベシ、ソレヲ上文ノゴトクカクハ、コ
レハタバ倒語シテカクニアラズ、各意義ノカハリアル故ナ
リ、

而字ノ辨

而ハ、上ヲウケ、下ヲオコスノ辞、助字ノ中、而ノ字甚心ヲ付ク
ベシ、上下ヲ間隔シ、引分テ又コレヲ連綿スル也、承接轉換
ノ二法アリ、承接ノ而トハ、ソフノカラトイフコトバナリ、下
地アル上ハ、サシツグ辞ナリ、字彙ニコレヲ因是之辞ト云、學

而時習之、富而好禮、十有五而志于學、夕クヒコレ也、轉換ノ
而トハ、スレバト云辞也、サフハサフナレバ、カフト云意ナリ、
字彙ニ抑又之辞ト云、此ニチカシ、其為人也、孝弟而好犯上者
鮮矣、釣而不綱、和而不流、温而厲、威而不猛、恭而安、周而不比、
夕クヒ是也、而ノ字ヲ用ルニ、上ノ通り、二法アル也、又句中
句間、句首、句末ノ差別アリ、コレハ畢竟、承接轉換二義ノ内ニ
テ、字ノアリ所ニヨリテノ差別也、句中ノ而ハ、句讀スルニ不
及、直而温、寬而栗、學而時習之、本立而道生、釣而不綱、子温而厲、
威而不猛、恭而安、人不知而不愠、和而不流、中立而不倚、君子和
而不同、小人同而不和、尊徳性而道問學ト云カゴトキ是也、句

間ノ而ハ上ニ讀ヲスベシ、滔々者、天下皆是也、而誰以易之、吾
 恐季孫之憂不在顯史、而在蕭牆之内也、與其妾訕其良人、而相
 泣於中庭、而頭句良人未之知也、薦之於天、而天受之、暴之於民、而
 民受之、ト云ガゴトキ是也、句首ノ而ハ、一句ノ首ニアリ、上ニ
 句ヲスベシ、字彙コレヲ發端ノ辭ト云、シカレハ、蓋ノ字夫ノ
 字ノゴトク、前ニ語ナクシテ、突起スルハナシ、遠人不服、而
 不能來也、邦分崩離析、而不能守也、而謀動干戈於邦内云々、上
ノ而ハ句間ノ而ナリ而一ニ同志復取石氏書、刪其繁亂、名以
リ下ハ句頭ノ而ナリ輯畧ト云ガゴトキ是ナリ、何レモ、シカウシテトヨミテ、上ヲ
 承テ下ヲ起ス上ニ、字句ノ長短ニテ、差別アリ、コレ皆句中ニ

所

安在スルコトバヤリ、三法マアグル通ニテ、カ、リ、所、カ
 ハルコトア初、古ハ詞簡ナルコトハ、論語中庸ノゴトキ、皆句中
 ニアリテ、句間ノ而マレナリ、孟子ハヤ、詳ナリ、故ニ句間ノ
 而多シ、後代ハイヨクツマビラカナルユヘニ、句間句頭ノ而
 多シ、百餘字ノ中ニテ、此三法ヲ入マゼテ用ユルコトアリ、ソノ
 アタリ所ヲシラザレハ、讀書著文ノ間、段落アキラカナラズ、
 轉換ノ處、連續ノ處、マギル、コトアリ、句末ノ而ハ、助字也、下ニ
 句スベシ、字彙コレヲ語助辭ト云、此ハ詩謠ニアリ、定テ韻字
 ニ用ユ、上ノ三法トハ、各別ノコト也、己而已而今之從政者殆而
 唐棣之華、偏其反而、豈不爾思、室是遠而、俟我於著乎、而、充耳以

素乎而尚之以瓊華乎而若敖氏之鬼不其餒而ト云カゴトキ
是ナリ

承事之而

轉換之而

句中之而 一句之中用者、不点句、互處、不厭數句連用

句間之而 二句中間用者、点讀之下

句頭之而 上段既結束、而承上數節、別起端者、点句之下

句末之而 此古詩韵謠用者、只是兮字、些字類、與上三法異

又而字ニ添減ノ二法アリ、和訓ニ、(テ)トヨム所、文章ニ而ノ字

ヲ入ルコトアリ、ハブクコトアリ、是又有義ノ添減アリ無義ノ添

減アリ、有義ノ添減ハ、易ノ象ニ、辨上下、定民志、又頤ノ象ニ、慎
言語、節飲食、論語ニ、言忠信、行篤敬ト云ガゴトキ、此ミナ三字
句ニテ、一句ニテ、一句ツ、一事ヲアゲテ、別々ノコト也、此ヲ
言有物而行有恒ト云ヤウニ、間ニ而ノ字ヲ加レバ、上下モチ
合テ、二事一ツニナル、又四字句ニ、居仁由義、制禮定樂、去讒遠
色ナト、イフ、此モ一ツ、アゲタルモノニテ、二事ヲ一句ニ
シタルモノ也、論語ニ、居敬而行簡、居簡而行簡、質直而好義、察
言而視色、孟子ノ、古之賢王、好善而忘勢、又親親而仁民、仁民而
愛物ト云ヤウニ、四字ノ間ニ、而ノ字ヲ加フレバ、二事ヲモチ
合セテ、一ツニシ、ソノワケヲ説キ、ソノ次第ヲ立ルナリ、二ツ

アルモノヲ一ツニスルト云ハ是也、無義ノ添減ハ子鈞而
 不綱、弋不射宿ノゴトキヲイフ、前段ニ論ズルハ、皆意義アリ
 テ、添減スル法ナリ、コノ所ニアグルハ、而ノ字ノ有無ニ、意義
 ナク、文字ノツリ合、句クバリノ宜キヤウニシテ、深義ナシ、鈞
 而不綱ノ二句ハ、義理ノカハリナシ、上ハ不綱二字ナレユヘ
 ニ、而ノ字ヲ加ヘ、下ハ不射宿三字ナルユヘニ、而ノ字ヲハバ
 キタルモ、ナリ、異義ナレ、又敬不違、勞而不怨ノゴトキ、コレ
 亦無義ノ添減ナリ、父母ノ志子ノ諫メニ從ハザレハ、又常々
 ノ敬ニカヘリテ、父母ノ志ニ違ハズ、又敬トツハキ、コトバニ
 ライアル故ニ、而ノ字ナシ、勞ハ慰勞、諫メタルアトノトリ直

シヲレテ、サフレテ、怨色ナキナリ、勞ハ一字ニテ、コトバ急也、
 故ニ而字ヲ加フ、四字二句ニナル、故初ノ句ニハ、而ヲハブク、
 深義アルニアラズ、句ノツリ合ト、コトバノ緩急トミヘタリ、
 他モコノ例ニテオスベシ、後世ノ文字ハ、對偶ニ拘ルアアル
 ニヨリテ、所ニヨリ、古法ニテ而ノ字ナキ所ニ、而ノ字ヲ加ヘ
 而ノ字アル成語ニ、而ノ字ヲサルアアリ、此ハ上下ツリ合宜
 シク、屬讀シヤスキガタメナリ、シカレモ、ソレモ所ニヨルベ
 シ、上ニ論ズル通りノ本義ヲ意得テ、辨別スベシ、句間ノ而モ
 コレニ準ジレルベシ、○又按ズルニ、文章ニ而ト以テ借用ス
 ルアアリ、中庸ニ云、君子尊德性而道問學、致廣大、而盡精微、極

高明、而道中庸、温故而知新、敦厚以崇禮、胡雲峰云、而字アル分ハ、是兩事、而字ヲ下セバ、下股重シ、以字ヲ下セハ、上股重シト、又易ニ直以方トアリ、又蕃之德圓而神、卦之德方以智トアリ、蔡氏カ蒙引ニ、而以入カヘテミルトモ、通スルヲ故、古文多ク通用ト、ク、又老子ニ云、大國以下小國、則取小國、小國以下大國、則取大國、故或下以取、或下而取ト、林兆恩カ説ニ、有心ナレハ以トイヒ無心ナレハ而トイフト、林希逸ノ説ニハ、以取トイフハ、ソノハズノ一故、以トイフ、小ヲ以テ大ヲ取ハ、理不必爾、ユヘニ、而取トイフト説ク、各本文ヲミルベシ

之字添減各有二法辨

和訓ニテ、(ノ)トヨム所、文章ニテ之ノ字ヲ用ユルニ、意義アリテ、添減スルヲアリ、意義ナクテ、添減スルヲアリ、其法二様アリ、タトヘバ、大學之書ト、之ノ字ヲ入ル、ハ、大學ト云書物ハト云意ニテ、辞ニヨホトライアリテ、上ヲコトハリタルモノ也、虚語ニナルナリ、コレヲ直ニ大學書トカクハ、名目ニナリ、辞急ナリ、虚語ニナルナリ、天地之間ト、之ノ字ヲ入ル、ハ、天地ノ二ツノ間ト云トニテ、意ユルシ、コレヲ直ニ天地間トカクハ、此モ名目ニナリ、コトニ俗語ニチカシ、天地間有數字ナト、使フノ類ニテシルベシ、大成之殿ト、之ノ字ヲ入ル、ハ、コノ御殿ハ、大成ト云、御殿ナリト、人ニシラセタルモ

ノナリ、コレヲ必直ニ大成殿ト云キハ、名目ナリ、コノ事助語
 辭ニ詳ナリ、又息君夫人者息君之夫人也、列女傳連處士、應山人
 也、以一布衣終於家而應山之人至今思之、居士集二十四ミナ
 上ノコトハリナリ、又史記、聶政傳曰、韓之與衛相去中間不甚
 遠ト、コノ通りニ、之ノ字ヲ入ル₁意アリ、常ニ之ノ字ヲヨマ
 ガルニヨリテ、仁與義陰與陽ト云ノ類ト同ク看過スレバ、甚
 差別アリ、仁與義ト云カ如キハ、上下ヲ對待ニシタルモノナ
 リ、輕重ナシ、之ノ字ヲ入ル_ハ上ヲ主ニシタルモノニテ上
 ノ字重シ、君子之於天下也、孟獻子之與此五人者友也ト云類
 ニテ、韓ノ衛トハト云意ナリ、用字格ニ詳ナリ、仁之勝不仁也

猶水勝火告子今之為仁者、猶以一杯水、救一車薪之火也、同上
 位弟在尸位、卿人在賓客之位也、同上為指之、不若人也、指不若
 人、則知惡之、告子威如吉、大有象曰、威如之吉、易而元備也、コレ
 等モミナ意義アリテ、添減スル₁ナリ、無義ノ添減トハ、之字
 ノ有無ニテ、各別主意チガフニアラズ、上下文勢ノツリ合ト、
 緩急トニテ、増減スル處ヲイフ、而字添減ノ法ト、併按スベシ、
 於字添減ニ法辨乎于通看
 於字乎字ノ添減ニ、二法アリ、論語ノ、拜下禮也、今拜乎上、泰也、
 孟子ノ、不幸而有疾、不能造朝、有採薪之憂、不能造朝、今病小愈、
 趨造於朝、無歸而造於朝、公孫ミナ同キコトナルニ、拜下ハ助

字ナク、拜上ニ乎ヲ入レ、孟子ノ四ツノ朝ニイタルト云ニ、ニ
 ツニハ、於字アリ、ニツニハ於ノ字ナキハ、是ハ虚實ノ違ナリ、
 拜下造朝トカケバ、今日本ニテイフ、名目トイフヤウナルモ
 ノナリ、拜乎上、造於朝ト間ニ助字アルハ、ウワサニナリテ、ソ
 ノシワザヲサシタルナリ、此方ニテ、兩方ニ、逆讀シテ、トモニ
 テニハヲ付テ、ヨムユヘニ、カワリナキヤウナレ、上ノ通り
 ニ、差別アル也、論語中、子張問仁於孔子、張子張問於孔子曰、
 何如斯可以從政矣、張子又程傳ニ、履踐也、藉也、履物為踐、履於物
 為藉、履卦コレハ於字ノ添減ニテ、主客ワカル、也、司馬牛問
 君子トカケバ、君子ノコトヲ問フ、物ヲムトイヘバ、此方主

也、孔子ニ問フ、物ニママルトイヘバ、サキガ主ニナリ、

故、三トヲトメ、テニヲハ、チガフ也、右ノ分ハ、有義ノ添減ナ

リ、孟子ニ、曾子居武城、有越寇、子思居於衛、有齊寇トアリ、コノ

二法異義ナシ、長ノ短シ、短ヲ長スルノ法ナリ、武城ノ二字長

シ、故ニ於ノ字ヲ省テ、コレヲ短ス、衛ノ字短シ、故ニ於ノ字ヲ

添テコレヲ長ス、又天子適諸侯、諸侯朝於天子、昔子トアリ、コ

レ亦意アルニアラズ、文勢ノ緩急ナリ、他モコノ例ニテオシ

シルベシ

者字添減二法ノ辨

和点ニテハトヨム所ニ、者字ヲオクアリ、オカザルアリ、大畧

ハ於字之字ノ添減ノ法ト同シ、仁者人也ト、カケバ、仁トイフ
 モノハト、訓シタルモノニテ、ソノ意緩ナリ、コレヲ仁人也ト
 カケバ、直ニ上ノ字ト、一ツニナリテ、ソノ意ヤ、緊ナリ、コレ
 ハ意アリテノ添減也、文字ノツリ合、句ノクバリニテ、意ナク
 メ添減スルト、上ノ諸例ニ同シ、總テ者字アルルハ、上ヲトハ
 ト訓ズルト也、臣之所以事君者、此二者、脂者、膏者、ナド、イフ
 片用ユルハ、虚字ノ中ニテ、上ノ例トハ違也、モノトヨミテ、カ
 ナウナルトハト云ト也、コノ片ハ者字ヲオクト、減スルトニ
 テ、其意違ト也、周禮ノ文ハ、一ツ、別テイフト也、モシコレヲ
 ハガケハ、只脂膏マデノトニナル也、

トキ添減ヲ辨ズルハ、皆虚字ノ上ノト也、コノ外虚實二用
 アリ、仁者、安仁、知者、利仁トイフが如キ、コノ者ノ字、ハ、ソノ
 人ヲサシテイヌ、仁者、人也、義者、宜也トイフが如キ、コノ者
 ノ字、仁義ヲ訓ジテ、コレヲ呼、コレハ添減ノ法ニハアラサ
 レ、氏、畧、ソノ例ヲアグル也、又者ヲテイレ、ハトヨムトアリ、
 上ノ文ヲ指テ、トアレバト云ト也、

古字今字ノ辨

文章ニ、古字今字ノ差別アリ、コレハ義理ノタガヒナシ、三代
 ノ書ニハ、コノ字ヲ用ヒ、後世ノ書ニハ、コノ字ヲ用ヒ、時代ノ
 ナラハシトリ、賦賛銘頌ノ類ニハ、古文ヲ模シタルユヘニ、好

テ古字ヲ用ユ、平文ニハ難用、ソレモ、所ニヨリ、人ノ物ズキニ
 曰テ、使用スル一モアリ、タトヘバ、孔昭トカケト、甚明トカク
 ト、意ニ違ナシ、詩經大雅抑篇ニハ、孔昭トアリ、後世ノ文ニハ
 甚明ト用ユ、古文ニハ、厥弗俾俾等ノ字ヲツカフ、後世ノ文ニ
 ハ、其不使令ノ字ヲ用ユ、コレ皆意義ノ違ヒアルニアラズ、古
 今ノタガヒナリ、又古文ハ、義理嚴格ナル故、文字モ嚴ナリ、ス
 デニトイフ所ニ、既ノ字ヲ多ク用ヒテ、己ノ字マレナリ、後世
 ノ文ハ、辞長クシテ、イロトトリマハシテカク故、助字モウ
 ケタルコト多シ、コレハ古今ノ氣象ニテ、キツトイフト、婉曲ニ
 イフトノ違ナリ、又同ジ事ヲカクニ、奇字ヲ用ルト平穩ナル

字ヲ用ルトハ差別アリ、夜夢不祥、題門大吉、イフコトヲ、宵寐
 匪禎、札闈共休トカキ、竹馬平云、ノカクニ、徐彦伯コレヲ、篠
 驂トカク、同ジコトヲ、カヤウニ奇異ニカキカユル也、コレハ古
 今ノ辨、同テラズ、又平正文ニハ、嫌事ナルユヘニ、次デニコ
 、ニ辨ス、
 正字俗字ノ辨
 文章ノ上ニ、正字俗字ノ別アリ、コレモ義理ノタガヒアルニ
 非ズ、本文ニテハ、コノ字ヲ用ヒ、詞賦俗躰ノ文ニハ、コノ字ヲ
 用ルト云フ也、ソレモ直ニソノ辞ヲ寫シ入ル時ハ、本文ニモ
 俗語ノ入ルコトアリ、阿堵寧馨ハ、當時ノ俗語ナレモ、直ニソノ

辭ヲ入レタルモノ故晉史ニアラハルル外餘ニハ用ヒサル
也、畢竟雅俗ノ差別ナリ、タトハ、舟一艘ヲ單舸ト云キハ、
正字ナリ、本文ニ用ユベシ、ソレヲ孤舟孤艇孤蓬ト、連用
スレハ、共ニ詞賦ノ語ニ係ル、叙事議論等ニ用ユベカラズ、他
コノ例ヲ以テ推スベシ、コレハ熟字ノ上ノ一也、一字ニテモ
ソノ別同ジ也、

同字異義有正俗之別辨

同字ニテ、義理ノカワリニヨツテ、正義ニナルト、俗義ニナル
ト、差別アルト多シ也、ノ字、正義助語也ナリトヨム、マタト
訓スルキハ、俗義ナリ、亦ノ字トチカシ、少シ別アリ、渠ノ字、正

義ハ溝渠、ミツトヨム、カレト訓スルキハ、俗義ナリ、人ヲサス
ノ言バナリ、底ノ字、ソコトヨム、イタルトヨムハ正義、テイノ
音ナリ、自然底受用底又無不是底、父母ト云ノ類ハ、俗義ナリ、
的ト通用ス、又底事ト云ノ類、ナニトヨム、是モ俗義ナリ、ミト
テキノ音ナリ、甚ノ字、ハナハダトヨムハ正義ナリ、甚事ト云
ノ類、ナニトヨムハ、俗義ナリ、容齋隨筆ノ始テ世ニ行ル、時
宋ノ高宗ノ甚齋隨筆ト洪邁ニ尋ラル、ハ、容ノ字ヲ忘ラレ
テ、ナニ齋ト問ル、ナリ、是俗語ナリ、ナンゾトハヨマズ、(的)ノ
字、マトノ時ハ、正義ナリ、ナニ的ト云キハ、底ノ字ト同キトニ
テ、俗義ナリ、マサトヨミ、端的ト云モ、俗義ナリ、了ノ字、サトル

トヨム片ハ、正義ナリ、了悟了達ノゴトキ是也、ナニ了了ト云キハ俗語ナリ、讀了後坐了秀才康了ト云ノ類是ナリ、

同字同義隨所有正俗之別辨

字義ノカワリニ因テ、正俗ノ差別アルハ、上ニアゲル通ニテ、ソノ例多キ也字義トモニ、カワラズメ、正俗ノ差別アルハ、正字ナリ、物ニヨジノホル意ナリ、語録中ニ、何ニヨツテト、常ノ因ノ字ノコトクニ、虚語ニ用ルキハ俗義ナリ、李白カ詩ニ、為問緣何太瘦生ト、如此ハ俗義ニナル、(道)ノ字ヨイワトヨムニ、二法アリ、夫子自道也、道盛徳至善、民之不能忘也、トイフガゴトキハ正

文ナリ、詩ノ中ニ、休道解道ト云ガゴトキハ、俗義ナリ、語録中ニ、最多キトナリ、(莫)ノ字、正文ニハナシトヨム、無ノ字ト通用シテ、稍差別アリ、此ヲナカレト使フキハ、俗義ニナル、正文ノ勿ノ字、母ノ字ノゴトシ、詩ノ内ニ、莫ノ字ヲ無ノカワリニナシト使フトナシ、必ナカレト云トニナル、(他)ノ字、豈無他人、王顧左右而言他ノゴトキ、正義ナリ、白眼看他世上人、又不他是聖人ト云ガゴトキハ、俗語ナリ、正義ハ專自他ノコトニナル、俗義ハ、先ヲサスノ辞、カノト云ガゴトシ、

同訓二字疊用ノ辨

同キ訓ノ字、二字連用ルヲ、讀者只念ヲ入テ、同訓ノ字ヲ、疊使

フトバカリ思フハ、アヤマリナリ、訓ハ同シキナレバ、義コトナルニヨリ、カサネ用ルナリ、タトヘバ、遭遇ト云ハ、遇ハ直ニソノ禍福ニアフ、上ノ遭ハ、ソノ様ナル時節ニ行アフ、也、還歸ト云ハ、還ハ往ニ對メ、先ヨリカヘル、歸ハ家ニトクトカヘリツク、聽聞ト云ハ、聽ハ先ヲキク、聞ハソレヲキキトル、一字モ胡用ナシ、又所ニヨリテ、熟語ニ連綿シテ、用ル、アアリ、此モ字々ノ義ハ、ワカレバ、虚語ニ用ルホト、甚分別ナシ、制作経歴成就假借随從建立安寧充滿憂患恐懼ノゴトキ、一字々各通別アレバ、多クハ熟用ノ字様ナリ、又語辭ノ内、既已猶尚則即亦復此是設若然而應須ノコトキ、疊用ノ訣、最

仔細アルマ、此亦一字モ閑用ナレ、且、行ハ合聲、コ外、同訓注ノ、經史注中ニ多キ也、博廣也、從隨也、遷移也、歸還也、孰誰也、ノゴトキ、一字々々別テ、イハ、皆ソノ別アリテ、一ツトハシカタシ、カヤウノ所ニテハ、大概ニ古來ノ字例ヲ以、シタルモノナリ、シイテカ、ワルベキニアラズ、又所ニヨリテ、意義アリテスル、アリ、アラマシニ、看過スベキニモアラズ、ソノ辨、各字ノ下ニ具サナリ

一句中同字再用辨

一句ノ内ニ、同コトヲ再言、アリ、詩經ニ、其雨其雨、曰歸曰歸、論語ニ、禮云禮云、樂云樂云ト云ノ類、皆入ノタビクニ言コト

ヲ、形容メ重イフ也、詩經ノ内、コノ例最多シ、又再三コレヲ
 イヒテ、咨嗟詠歎スルモアリ、シレタルナレバ、逐一ニ舉
 グルニ不及、コノ外ニ、爰居爰處、以雅以南、是究是圖、亶其然乎
 是刈是灌、明神先君、是糾是殛、汎々揚舟、載沉載浮、乃積
 乃倉、乃裹餼糧、于橐于囊、維熊維羆、實方實苞、實種實稊
 ト云ヤウニ、一句中ニ、同字ヲ再イフアリ、文章ノ内、最多キ
 コト也、各意義アリ、差別甚詳ナリ、ソノ大概ヲ下ニアグ、且ノ
 字ハ、物ヲカヌルコトハ、兩ツノコトヲ、カネオコナフ意ナリ、
 コノ方ノ俗言ニ、ツ、ト云、即コノ義ニ通用ス、ネフリツ、ク
 ヒツ、ト云類ナリ、コレヲ重テ、且戰且行ト云ハ、合戰ヲレツ

ツ、道中ヲユクナリ、且漉且嘗ト云ハ、酒ヲコシツ、片手ニナ
 ムル也、下ニアクル諸文、コノ義ニ準ズベシ、且哭且罵、且
 戰且引、十餘里、視彼脊令、則且飛而且鳴矣、(隨)ノ字ハ、ツイ
 テマワル、コレヲ重テ、隨修隨壞ト云ハ、物ヲ修覆スレバ、ア
 トカラタツテ、損ズルナリ、旋ノ字ヲ重ヌルト、同キヤウニ
 テ、又差別アリ、旋ト云ハ、事ニツニナル、隨ノ字ハ、事一ツニナ
 ル、修スレバ、アトカラクヅル、ト云キミナリ、辨ズベシ、吳剛
 月中伐桂、創隨伐隨合、百孔千瘡、隨乱隨失、吾輩通患、正如
 池面浮萍、隨開隨蔽、(愈)ノ字ヲ重ヌルハ、愈撲愈盛トイヘバ、
 ウテバウツホド盛ルト云フ、ウツガマサレハ、盛ルモマサル

ト云フ、今ノ人、奴僕ナドヲシカリテ、シカレバシカルホド、ワ
 ルイト云、コノ氣味ナリ、又俗語ニ、越看越愛ノ拍案ト云コレ
 モ、愈ノ意ニチカシ、珍寶ナドヲミレバ、ミルホドホシヒト云
 一也、愈多而愈工、園傳忠 肅集序(旋)ノ字ヲヤ、トヨミ、コレヲ重用ユ
 ルハ、物ヲチヨツチヨツトナス一也、旋得旋使ト云ハ、錢財ヲ
 チヨツクト、モフケテ、又チヨツクト使フト云フ、旋書旋卷ト
 云ハ、卷物ヲチヨツクト書付テ、又チヨツクト卷オクル一也、
 山東河北間、有據土地内附者、然旋得旋失、故不復記錄云、文獻
與地
 考、旋至旋樸、非如嘉靖之季矣、圖書編、島夷志、記
日本入寇之事海之有寇也、譬
 如秋林墮葉、旋掃旋有、經國雄
略一(乍)ノ字ヲ重用ユルハ、一ツノ物

ガ、ヒヨツクト、カハル一也、乍暖乍寒トカケバ一日ノ内、アツ
 フナルカト思ヘバ、又寒フナルヲイフ、乍見乍没トカケバ、水
 ニ溺タル人、浮カト思ヘバ、又沉ミ、沉カト思ヘバ、又浮ム、浮ト
 カ沉ムトカ、一方ニカタ付クニ非ルナリ、又久シク時ヘタル
 ハ、浮沉ニテモ、高下ニテモ、イハレス、シバシノ内ニ、ヒヨイヒ
 ヨイト、カハル一也、兩郎溺攀、船乍見乍没、建臨視大笑、前景十
三王傳
 車氣乍高乍下、往々而聚、史天
官書脉息乍大乍小、難經周
仲立注(更)ノ字ヲ
 重用ルハ、タカヒチガヒノ意也、水車ヲ更出更入ト云、一方ノ
 水が出レバ、一方ノ水が入ルト云一也、外國使、更來更去、前張
騫傳
 ○師古曰、逆互、(亦)ノ字ヲ重用ユルハ、俗語ナリ、(時)ノ字ヲ重用
 來去前後不絶

ユルハ、時ニヨリテ、チガヒノアル也、時來時去トカケバ、ク
 ル時アリ、去ル時アリテ、一定セスライフ、トカク一時ニナラ
 ズ、チガヒノアルヲ云、自淳維以至頭曼、千有餘歲、時大時小、別
 散分離尚矣、史句又時行時止不可恒也、故云、或文言程傳コノ文ハ、
 少シ別アリ、時節ノ宜シキニマカセテ、行止スルト云也、故
 ニ又隨時トモ解セラル、(或)ノ字ヲ重用ユルハ、事ヲニスダニ、
 立分ケテ、アチラヘモシ、コチラヘモシト云也、疑或ノ意ア
 リ、ヲドルトモアリ、オルトモアリ、二筋一決セヌ也、時ノ字ヲ
 重用ルト、畧相似タリ、時ハ疑ズニ時節ノ別ナリ、或ハドチラ
 ヘ落著フゾト、イロイトスル也、又詩經北山ノ、或燕々居息

或盡瘁事國、韓文ノ南山ノ詩、或ノ字ヲ連用ス、ミナ長句ナレ
 尺、カフスルモアリ、カフスルモアリト、イクスジモ、イフコト
 也、或躍或處、上下无常、或進或退、去就從宜、文言程傳

操觚字訣卷之一終



操觚字訣卷之一

綿糸本非片

